

問 今後の展開は。

答 今回の施設整備により、利用環境は良くなつていくと思つている。今後は設備の整つた野球場であることをPRし、引き続き、ウエスタン・リーグ公式戦を開催するとともに、スポーツ合宿や大規模な大会の誘致を目指していきたい。

○水道事業会計
年度末給水栓数は、3万4112栓、1日平均給水量2万6858m³を予定しており、収益的収支は1億1520万円の黒字予算です。

○下水道事業会計
処理区域面積は1157ha、処理区域内人口は5万6717人、年間有収水量は579万m³を予定しており、収益的収支は4億60万円の赤字予算です。

○病院事業会計
1日平均入院患者数を286人、外来は700人と見込み、収益的収支は1億3170万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収入で合計15億円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○モーターボート競走事業会計
年間192日の開催を予定しており、収益的収支は20億7790万円の黒字予算です。この会計から土地区画整理事業特別会計に8億円、下水道事業会計に6億円、病院事業会計に15億円を支出します。

条例の改正
●消防団に支援団員制度を導入
(第4号議案)

消防団員の定数確保が難しくなつている実情を踏まえ、団員確保の対策として、支援団員制度を導入します。支援団員は、災害活動など特定の消防事務を処理する団員で、支援団員として1年間勤務して退職した者には、退職報償金として、1万9200円が支給されます。

●総務委員会での主な質疑
問 支援団員制度を導入することで、消防団への加入促進が見込めるか。

答 定数割れとなつている分団のOBの中には、災害

活動には協力したいが、式典、訓練、点検など様々な行事への参加は負担が大きいためという理由で入団をためらう方が見受けられます。また、平成30年度をもつて退団予定の団員の中には、退団後も支援団員として残りたいという方もいます。それらを考慮し、20人程度の加入を見込んでいます。

その他の議案

●副市長の選任
(第21号議案)

副市長井澤勝明氏の任期が平成31年3月31日に満了することに伴い、同氏を引き続き副市長に選任することに同意しました。なお、任期は4年です。

決議

①第28号議案 平成31年度蒲郡市一般会計予算に対する附帯決議

審査結果 否決
(○内の数字は、決議案番号)

3月定例会で議決された平成30年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第5号)	臨時福祉給付金給付事業費等国庫補助金 返還金 686万9千円	3億4,340万円	314億1,632万 1千円
	障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 1,676万1千円		
	生活保護費国庫負担金等返還金 2,760万1千円		
	竹島駐車場指定管理料 71万9千円		
	急傾斜地崩壊対策事業負担金 145万円		
	福井貞子教育振興基金積立金 1億円		
	新府相公民館建設事業費 1億9,000万円		
債務負担行為追加 事項：竹島駐車場指定管理料 期間：平成31年度～平成32年度 限度額：153万6千円			
国民健康保険 事業特別会計 (第2号)	国庫支出金返還金 9,110万円	9,110万円	76億5,690万円
土地区画整理 事業特別会計 (第1号)	繰越明許費 1億7,484万円	—	14億6,740万円
下水道事業 特別会計 (第3号)	繰越明許費変更(公共下水道整備事業) 補正前：2億6,100万円 補正後：3億9,330万円	—	25億8,790万円